



第18期 環境経営レポート

対象期間:2019年6月～2020年5月



埼玉工場



本社

管公工業株式会社

本社・足立流通センター・埼玉工場

エコアクション21認証番号:0005986

作成日:2020年8月20日

I. ごあいさつ

明治42年に封筒・小間紙の専門メーカーとして創業以来、大正・昭和・平成を経て100数年余、弊社は紙を主要な原料素材として、封筒・便箋・祝儀袋等の製造を中心に現在まで事業を続けて参りました。

「令和」という新元号を迎え新たな取り組みを模索する毎日ですが、長年作り続けた紙製品の品質維持のための努力は日々怠らず、昨今「脱プラ」による紙への関心が高まっていることに対し弊社の技術がきつと役に立つのではないかと期待している次第です。

さて、近年起こっている様々な災害は、地球環境の変化に起因していることが多く見受けられ、豪雨や猛暑などは環境問題と直結していると誰もが思うところではないでしょうか。

弊社も中小企業ではありますが、この環境問題を避けて通るわけには参りません。

そこで「エコアクション21」の活動を積極的に取り組むことにより、事業活動を通じて環境問題に少しでも寄与し、社会に貢献することが重要と考えております。

これからも弊社は、紙製品製造販売という本業と共に、社会はもとより地球環境問題のためにも持続的に環境保全活動を推進してまいります。

2020年7月吉日

菅公工業株式会社

代表取締役

高島正廣

II. 環境経営方針

人の活動により地球温暖化問題と資源問題は、ますます重要性を増しています。

当社は、紙製品加工販売の事業を通じて環境保全に配慮して行動し、継続的に改善することを経営上の重要課題と考えており、次の行動指針を定めます。

1. 事業活動に伴う環境負荷を最小するために、次の取組を行います。

- ①二酸化炭素排出量の削減
(電力と燃料の削減)
- ②分別排出等により再資源化と廃棄物の削減
- ③エコ製品の開発・販売
- ④環境関連法規等の遵守

2. 環境経営方針を公開し、全従業員に周知します。

2009年10月8日制定

2018年11月1日(改定4)

III. 組織の概要

①名称及び代表者名

菅公工業 株式会社 (KANKO KOGYO CO.,LTD)

代表取締役 高島 正廣

②所在地

(※は登録事業所です。)

- | | |
|------------|---------------------------|
| ※ 本社 | 東京都台東区駒形1丁目6番1号 |
| ※ 足立流通センター | 東京都足立区入谷6丁目2番6号 文紙流通センター内 |
| 大阪営業所 | 大阪府大阪市東住吉区矢田1丁目10番1号 |
| 名古屋営業所 | 愛知県名古屋市東区砂田橋5丁目8番27号 |
| 九州営業所 | 熊本県熊本市南区近見3丁目4番14号 |
| ※ 埼玉工場 | 埼玉県新座市野火止4丁目1番8号 |

③環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 高島 定夫
 担当者 常務取締役 高島 賢一郎

④事業内容

文具紙製品の製造及び販売

⑤事業の規模

製品売上高(全社分) 11億円
 主要製品生産量 326トン

	本社	足立流通センター	埼玉工場
従業員 (名)	31	9	27
延べ床面積 (㎡)	375	565	1726

⑥事業年度 第18期 (2019年6月～2020年5月)

IV. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号: 0005986
 登録組織名: 菅公工業株式会社 本社・足立流通センター・埼玉工場
 関連事業所: なし
 活動: 文具紙製品の製造及び販売

V. 環境経営目標及び環境経営計画の実績

①本社

項目	年度	2017年度 (第16期)	2019年度 (第18期)		2020年度 (第19期)	2021年度 (第20期)	2022年度 (第21期)
		(基準年度)	(目標) 基準年度比	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の削減	kWh	74,889	74,889	79,696	74,889	74,889	74,889
	増減率	—	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%
化石燃料の削減	ℓ	6,082	6,070	4,980	6,064	6,058	6,051
	増減率	—	-0.2%	-18.1%	-0.3%	-0.4%	-0.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-co ²	57,610	57,582	57,529	57,567	57,553	57,539
	増減率	—	-0.05%	-0.1%	-0.07%	-0.10%	-0.12%
廃棄物削減		分別排出等により再資源化と廃棄物の削減を徹底					
エコ製品の開発・販売		リサイクル・間伐材使用紙の活用					
法規等の遵守		適用法規の明確化とチェック					

- * 電力のCO²排出係数は、2017年度(2018.12.27公表)、大和ハウス調整後排出係数0.571kg-co²/kWhを使用しました。
- * 化石燃料は、軽油とガソリンの合計です。
- * 水使用量は20㎡/月、一般廃棄物は15kg/月と少ないので数値目標は設定しない。
- * 段ボール等不要な紙類は、随時埼玉工場に運び処理している。

②足立流通センター

項目 \ 年度		2017年度 (第16期)	2019年度 (第18期)		2020年度 (第19期)	2021年度 (第20期)	2022年度 (第21期)
		(基準年度)	(目標) 基準年度比	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の削減	kWh	13,609	13,609	14,325	13,609	13,609	13,609
	増減率	—	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
化石燃料の削減	ℓ	5,596	5,585	4,577	5,579	5,573	5,568
	増減率	—	-0.2%	-18.2%	-0.3%	-0.4%	-0.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-co ²	19,465	19,440	17,439	19,427	19,414	19,400
	増減率	—	-0.13%	-10.4%	-0.2%	-0.26%	-0.33%

- * 電力のCO²排出係数は、2017年度(2018.12.27公表)、東京電力調整後排出係数0.474kg-co²/kWhを使用しました。
- * 化石燃料は、ガソリンのみです。
- * 水使用量は、センターには独立した量水器がなく把握出来ない。
- * 廃棄物は、センター指定場所に廃棄し自社で管理出来ない。

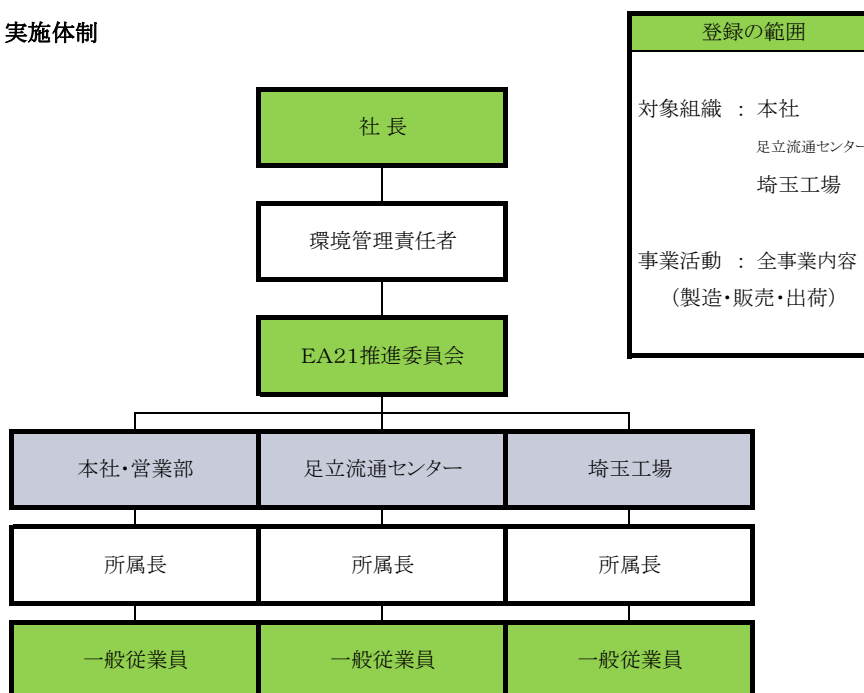
③埼玉工場

項目 \ 年度		2017年度 (第16期)	2019年度 (第18期)		2020年度 (第19期)	2021年度 (第20期)	2022年度 (第21期)
		(基準年度)	(目標) 基準年度比	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の削減	kWh	97,102	97,102	104,761	97,102	97,102	97,102
	増減率	—	0.0%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%
化石燃料の削減	ℓ	5,203	3,911	3,117	3,105	3,079	3,052
	増減率	—	-24.8%	-40.1%	-40.3%	-40.8%	-41.3%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-co ²	68,226	65,038	67,452	63,048	62,985	62,921
	増減率	—	-4.7%	-1.1%	-7.6%	-7.7%	-7.8%
廃棄物の削減	kg	2,397	2,397	2,910	2,397	2,397	2,397
	増減率	—	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
水道水の削減	m ³	655	655	643	642	639	635
	増減率	—	0.0%	-1.8%	-2.0%	-2.4%	-3.1%
法規等の遵守		適用法規のチェック励行					
教育訓練		EA21定着と環境意識の向上のための教育					

- * 電力のCO²排出係数は、2017年度(2018.12.27公表)、大和ハウス調整後排出係数0.571kg-co²/kWhを使用しました。
- * 化石燃料は、灯油とガソリンの合計です。

VI. 実施体制及び環境経営計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

①EA21 実施体制



役割	主な責任と権限
社長	1. 環境経営方針の制定 2. 環境責任者の指名 3. 経営資源(人、設備、情報等)の提供 4. EA21取組状況の評価と改善の指示 5. 環境経営目標、環境経営計画書策定時の承認 6. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 (環境責任者)	1. EA21の構築と運用 2. 遵法性評価 3. EA21推進委員会委員長 4. 環境経営目標と環境経営計画の実施状況の検討 5. コミュニケーション記録、是正・予防記録の承認 6. 社長にEA21の運用状況の報告
EA21推進委員会(事務局)	1. EA21の周知、徹底と教育の計画 2. 活動計画の討議、目標のフォロー 3. 事務局業務(文書管理、対外部の窓口) 4. 手順書の承認
所属長	1. 自部門に関する目標、活動計画の実施責任 2. 是正・予防の対策立案と実施責任者 3. 緊急事態の訓練責任者 4. 教育訓練の実施
一般従業員	1. 自部門に関する目標、活動計画の実施 2. 緊急事態への対応 3. 省エネ、分別排出等決められた事項実施

②取り組み計画・達成状況及び評価

達成状況の記号について:◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
①本社		
・冷房28℃、暖房22℃推奨	△	梅雨明け後の猛暑・残暑によるエアコン使用の増加、コロナ禍における内勤業務の増加が使用量増加の要因と考える。感染防止が急務であり次年度も様子を見る。
・空調機のフィルタ清掃	○	
・消灯、不要電気OFF	◎	
・PC、プリンター省エネ設定 単位:kW時	○	
②足立流通センター		
・冷房28℃、暖房22℃推奨	△	梅雨明け後の猛暑・残暑によるエアコン使用の増加、コロナ禍における内勤業務の増加が使用量増加の要因と考える。感染防止が急務であり次年度も様子を見る。
・空調機のフィルタ清掃	○	
・消灯、不要電気OFF	◎	
・PC、プリンター省エネ設定 単位:kW時	○	
③埼玉工場		
・高効率設備(エアコン)の段階的導入の検討	○	前年度同様、化石燃料削減の為、新規に導入したエアコンに限り冬場も使用した結果、目標数値を達成出来なかった。次年度は少しでも基準年数値に近づけるよう取り組む。
・昼休み、残業時の不必要な照明の消灯	○	
・エアコン、照明器具の適切なメンテナンス(保守管理)	○	
・掲示板に月の実績値を表示(3ヶ月ごと)し、比較検証	◎	

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
化石燃料による二酸化炭素排出量の削減		
①本社		
・エコドライブ	○	営業エリアの見直しやコロナ禍による営業活動停止により使用量が減少。次年度も様子を見る。
・タイヤ空気圧チェック(6カ月毎点検時に実施)	◎	
②足立流通センター		
・エコドライブ	○	営業エリアの見直しやコロナ禍による営業活動停止により使用量が減少。次年度も様子を見る。
・タイヤ空気圧チェック(6カ月毎点検時に実施)	◎	
③埼玉工場		
・エコドライブ等、運転方法の配慮	○	前年度同様、ガソリン、灯油ともに今期目標を達成できた。冬場に高効率のエアコンを使用したことにより、灯油の購買量を削減できたことが成果として表れた。次年度も引き続き削減できるよう取り組む。
・給油時にタイヤ空気圧の確認(月1回程度)	○	
・車両の適切なメンテナンス(保守管理)	◎	
・高効率設備(エアコン)の段階的導入の検討	○	
・休憩時の消灯や、上着等の着る物での体感温度調節	○	
・石油ストーブの適切なメンテナンス(保守管理)	○	
・掲示板に月の実績値を表示(3ヶ月ごと)し、比較検証	◎	



燃費管理表

年月	走行距離 (km)	燃費 (L/100km)	燃費 (L/100km)	燃費 (L/100km)	燃費 (L/100km)	燃費 (L/100km)
2014年11月(10)	24,416		24.30	0.0		
2014年11月(20)	24,727	327	20.70	10.7		
2014年12月(10)	29,214	241	10.00	8.4		
2014年12月(15)	29,230	271	20.00	13.0		
2014年12月(22)	28,458	168	24.00	5.6		
2014年12月(27)	29,762	304	11.00	9.6		
2015年1月(5)	30,024	292	20.10	8.2		
2015年2月(5)	30,311	241	10.00	9.6		
2015年2月(15)	30,600	291	10.00	9.6		
2015年3月(10)	30,220	220	20.00	10.0		
2015年3月(21)	31,234	309	31.20	9.6		
2015年4月(5)	31,510	276	24.00	9.2		
2015年4月(27)	31,822	310	20.70	10.2		
2015年5月(10)	32,122	300	22.70	9.2		
2015年6月(10)	32,418	286	10.00	9.2		
2015年6月(20)	32,706	331	31.00	10.7		
2015年6月(30)	33,041	291	20.10	11.6		
2015年7月(5)	33,280	244	10.00	8.0		
2015年7月(15)	33,527	240	24.30	8.0		
2015年7月(25)	33,776	180	24.40	8.4		
2015年7月(31)	34,041	270	20.70	11.6		
2015年8月(17)	34,280	230	30.3	7.0		

燃費管理表

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
一般廃棄物の削減		
①本社		
・分別種類の表示	◎	廃棄物の分別化は定着してきている。次年度も引き続き徹底していく。
・紙類の分別の徹底とリサイクル	◎	
②足立流通センター		
・分別種類の表示	◎	廃棄物の分別化は定着してきている。次年度も引き続き徹底していく。
・紙類の分別の徹底とリサイクル	◎	
③埼玉工場		
・廃棄物排出方法のルール化	◎	産業廃棄物が増加傾向の為、目標達成とはならなかった。前年度同様に製品のあり方等根本的に見直さなくてはならないかと考える。
・業者へ定期的に排出	◎	
・掲示板に月の実績値を表示(3ヶ月ごと)し、比較検証	◎	

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
水道水の削減		
①埼玉工場		
・メーター等で漏水有無の点検	○	仕事の状況により水の使用量が変化する為、引き続き達成できるように取り組む。
・排水管等の適切なメンテナンス(保守管理)	○	
・掲示板に月の実績値を表示(3ヶ月ごと)し、比較検証	◎	



取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
環境配慮製品の開発・利用		
・間伐材利用製品のPRと拡販	○	前年度に続き間伐製品の利用量が伸びている。引き続き同製品のPRの強化を行っていく。
・エコマーク認定品のPRと拡販	○	
・再生紙利用製品のPRと拡販	○	

間伐紙使用製品

木になる紙

シリーズ
間伐紙10%
再生紙40%



Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法 (法12条の3)	廃油(機械潤滑油)・廃インキ(フレキソインキ)・業者委託
自動車リサイクル法 (法73条,法8条)	業務用車両・使用済自動車引取証明書
家電リサイクル法 (法6条)	エアコン・TV・業者委託
容器包装リサイクル法 (法13条)	製品の包装・日本容器包装リサイクル協会
浄化槽法 (法9条,法8条)	30人槽・保守点検 年6回・清掃 年2回・法定検査 年1回
フロン排出抑制法 (法41条)	業務用エアコン・R-22・業者委託(エアコンに使用)
東京都火災予防条例 (法34条)	指定可燃物貯蔵取扱所等の標識の掲示
道路運送車両法 (法48条)	商用車6か月、乗用車1年の定期点検・リース会社契約書
東京都・埼玉県条例 (法40条)	自動車(ディーゼル車)PM規制・アイドリングストップ

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し

	システム文書	社長による評価
環境経営目標の達成状況 環境経営計画の実施状況	環境経営計画書	当社が取り扱う文具紙製品の小売り不振が続く中、新型コロナウイルス感染症により最終四半期は事業活動に大きな影響が出てしまった。営業範囲の見直しやコロナ禍による営業活動が満足にできなかったこともあり燃料使用量は下がったが、今年度も天候変動の影響が大きく電力の削減が思うよう出来なかった。次年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各数値にどのような影響がでるか見定めたい。
法規の遵守状況	法規制等の遵法性チェック結果	遵守されている。
外部からの苦情・要望	環境コミュニケーション記録	特になし。
EA21の取組状況 教育の状況	教育訓練記録	参加者の本活動への理解が深く、このまま継続を期待する。
前回の指示事項の実施状況	前回の記録(2019年7月22日) 環境経営目標の電力の目標値を基準年度の数値のままとし様子を見る。	指示通り実施済。